

発見したよ

三和小学校三年 かめ谷 じん

「やっぱり田うえはおもしろい」。ぼくはそう
思います。ぼくは、今年も田うえのこつを見
つけました。それは、なえを筆を持つ様に持
つて、土を分けさせる様にうえることです。
こうすると、いねがバラバラになりにくいで
す。それに、こしを曲げるだけでなく、くっ
しんをしながらうると楽にうえられました。

今、ぼくの家から見えるけしきは緑けしきは
いの田んぼが広がっていて、強い風がふいた
日は、いねの先が太よりの光をあびながらシ
ャラシャラと音をたててゆれます。まるで海
のなみの様に見えるし、魚がむれを作って泳
いでいる様にも見えます。

でも、なぜ三本ずつでうえたはずのなえが
大きくなるとふえるのだろう。ぼくはふしぎ
に思いました。だから近所のおばあちゃんに
話を聞きに行きました。いねがふえるのは一
かふはり一と言うそうです。さいしよから卵

くうえるとかぶはりをしないそうです。ほかにもお米を、せい米した時に出る米ぬかを畑の土にまぜて、二週間ぬかせた後になえをうえると、あまみのある野さいがでけると教えてもらいました。

「なんで米ぬかを入れるとあまくなるんですか。」

と聞くとおばあちゃんは、

「ぬかがあまいんじやろう。」

と教えてくれました。ぼくは米ぬかので育ったスイカを食べさせてもらいました。外があの白い部分の近くまであまくてびっくりしました。た。とてもおいしくておかわりをしました。

おばあちゃんはいろんな事を知っていて、すごいと思います。田うえもおもしろいけど、なえからわらになっ。ていろんなものにへんしんするの、とてもおもしろいと思いました。だからぼくが聞いた話をいろんな人につたえてあげたいです。そして、物らぞうりやしめなわを作ってみたいです。